



平成 18年11月10日

各 位

会社名  乾汽船株式会社
代表者名 代表取締役社長 乾 新悟
(コード番号 9113 東証・大証第1部)
問合せ先 総務部長 清田 昌宏
電 話 03(3548)3272

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年8月10日の第一四半期決算発表時に公表した平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2. 平成19年3月期通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(1)連結

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	15,000	1,500	850
今回修正予想(B)	16,800	2,600	1,600
増 減 額(B - A)	1,800	1,100	750
増 減 率(%)	12.0	73.3	88.2
(ご参考)前期実績(平成18年3月期)	14,340	1,900	1,184

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 58円04銭

(2)個別

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	15,300	1,600	950
今回修正予想(B)	17,000	2,700	1,700
増 減 額(B - A)	1,700	1,100	750
増 減 率(%)	11.1	68.8	78.9
(ご参考)前期実績(平成18年3月期)	14,752	2,125	1,383

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 61円67銭

3. 修正の理由

当中間期につきましては、平成18年11月1日に修正発表の通り、燃料油価格の高止まりというマイナス要因があったものの、不定期船マーケットは予想以上に堅調に推移し、また為替レートも想定より円安傾向が続いたため、業績は当初の予想を大幅に上回っております。

下半期につきましては、不定期船マーケット・為替・燃料油価格等、引き続き不確定要素も多いものの、昨今の市況を鑑み、当初の予想を上回り堅調に推移するとの軌道修正をしておりますので、通期業績予想を上記の通り上方修正いたします。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

<ご参考>

平成18年11月1日に修正発表いたしました、平成19年3月期中間期業績数値(平成18年4月1日～平成18年9月30日)につきましては、本日「平成19年3月期 中間決算短信(連結)」および「平成19年3月期 個別中間財務諸表の概要」にて、それぞれ公表いたしましたので、そちらをご参照ください。

以 上